

わくわく、どきどき!!

わしは岡山どんこ博士。みんなが毎日食べているお米はどこで作られているか知っとるかー。そう、田んぼで作られているんじゃ。その田んぼや田んぼに必要な水がどこからくるのか探検してみるでえー。さあ、

水 土 里 探 検 隊 出発じゃ!



水 土 里 探 検 隊 にはこんな意味があるんじゃ!

- ①水 (み) : 川や用水路を流れる水のことじゃ。
- ②土 (ど) : 田んぼなどの土地のことなんじゃ。
- ③里 (り) : 農村を表しているんじゃ。
- ④みどり : 緑豊かな自然を意味しているんじゃ。

どんこ博士





探検に出発する前には準備じゃ！
 「農業」はいつごろから始まったのか、わかる者はおるかろう？
 よっしゃ、農業の歴史について調べてえー。

① 縄文時代後期 ~ 弥生時代後期

今から約2千数百年前に、中国大陸からやってきた人たちが、お米という食べ物を持ってきた。人々は、おいしいお米ができる田んぼをどんどん作って行って、そこに村ができていったんだ。



② 弥生時代後期 ~ 平安時代

この頃になると、人々は田んぼに水を引くための水路や水を溜めておく「ため池」を作るようになったんだ。また、道や用水路も整えていったんだ。



③ 平安時代 ~ 江戸時代

武家社会になると、田んぼをどれだけ持っているかが、力の差になってきた。だから、古い田んぼをもう一度耕したり、山や谷を切り開いて新しく田んぼを作っていく人も多くなってきたんだ。



④ 明治時代 ~ 現代

明治時代になると国をあげて、農業を盛んにしようとする運動が始り、田んぼを大きくすなどの整備が行われた。このおかげで、機械も使いやすくなって、たくさんのお米が食べられるようになったんだ。



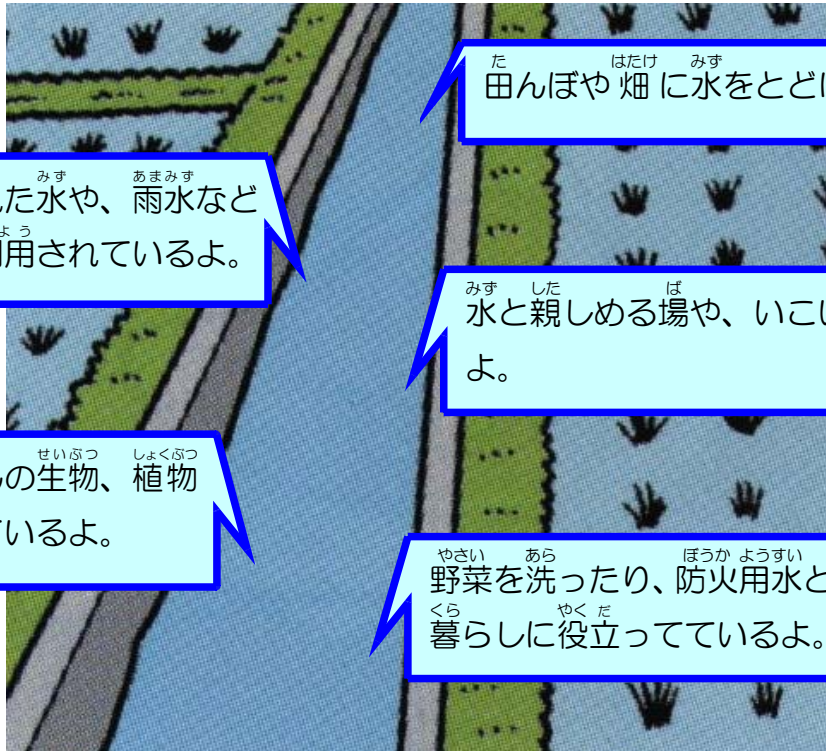
どうじゃ、これが農業の歴史の大きな流れじゃ！わかったかろう？
 ほんじゃ、準備が整うたところでお出立するぞ！レッツゴー！





それじゃー、^た田^{みず}んぼの水はどこから来るんじゃ
ろうか？ ^{つぎ}次は^{ようすいろ}用水路の^{たんけん}探検じゃ。

^{ひとびと}人々は^{あんてい}安定した^{せいかつ}生活をするために、^{みず}たくさんの水^たを^ひ田んぼに^{ひつよう}引く必要があった。
^{いまま}そこで、^{いけ}いっぱい水^{かわ}がある川や^{いけ}ため池から^{みず}水を^ひ引く^{ようすいろ}用水路をつくったんだ。
^{いま}今では、^{やくわり}この用水路は、^{さいきん}いろいろな役割をもつようになっているんだ。ただ、^{さいきん}最近
は^{せいかつ}みんなの生活^{はいすい}排水などにより^{みず}水が^{よご}汚れてきているから、^きみんなも^き気をつけて
^{ようすいろ}用水路をきれいにしていこう！



^た田んぼや^{はたけ}畑に^{みず}水をとどけているよ。

^く暮らしの中で^{なか}使われた^{つか}水や、^{みず}雨水など
^{はいすいろ}の排水路としても^{りよう}利用されているよ。

^{みず}水と^{した}親しめる^ば場や、^{いこい}いこいの^ば場になっている
よ。

^{ようすいろ}用水路は、^{せいぶつ}たくさんの^{しょくぶつ}生物、^{しょくぶつ}植物
の^{すみか}すみかにもなっているよ。

^{やさい}野菜を^{あら}洗ったり、^{ぼうか}防火^{ようすいろ}用水として^{つか}使ったり、
^{くら}暮らしに^{やくた}役立っているよ。



^{たかはしがわ}高梁川の^{みず}水を^{はこ}運ぶ^{ようすいろ}用水路
(^{くらしきしきかづ}倉敷市酒津)



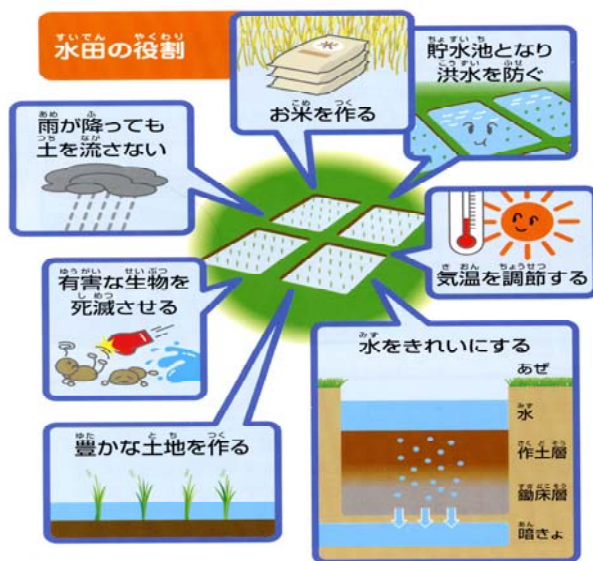
^{つぎ}次の、^{もんだい}問題じゃ。^{こた}答えてみられー。

Q 2 : ^{つぎ}次の^{たんすいぎょ}淡水魚のうち、^{いちばんおお}ひげが一番多いのは？
①なまず
②ドジョウ
③コイ

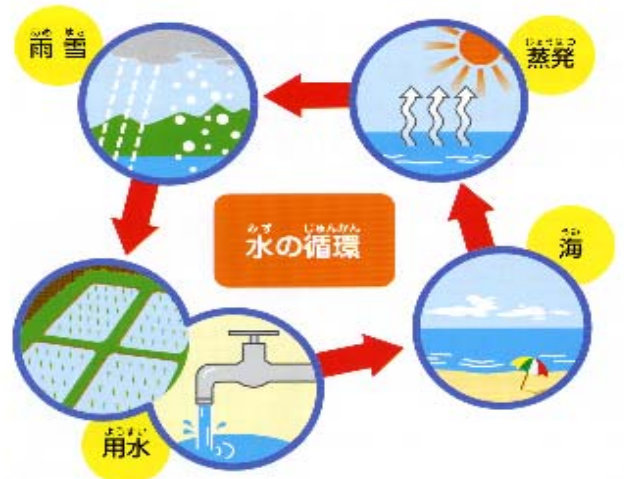
さあ、田んぼについたぞ。
田んぼには、お米を作るだけじゃなく、そのほかにいろいろな役割があるんじゃ。



田んぼは、大雨や台風ときには、洪水を防いでくれるダムのご役割をもっているんだ。そのうえ、土が流れてしまうのを防いだり、暑い時にはたくさんの水分が蒸発するので気温も下げてくれるよ。このように田んぼは地球環境を守ってくれているんだ。



日本の農業は、水を大切に用いてきたんだ。田んぼで用いた水は、土の層を通して、ろ過されてきれいになる。そして、海に流れ出た水は蒸発して、また雨や雪になって地上に降ってくるんだ。



クイズに挑戦じゃ！
わかるかのー。三折じゃぞ。(答えは最後のページじゃ。)

Q1: もうすぐ雨が降ることを教えてくれるアマガエル。夏に夕立が近づいたときはどうする？

- ① さかんに飛び跳ねる。
- ② 高いところにのぼっていく。
- ③ カン高い声で鳴き立てる。



水路の水はどこからくるんじやろう。今度は井堰の探検じゃ！

用水路を歩いていくと井堰に到着したぞ。井堰は、川の水を堰き止めて、川に水を貯めておき、雨などの水が少ないときにも困らないように考えて造られたんだ。この井堰によって安定した水が田んぼに流れていくようになった。今は壊れないように、井堰はコンクリートで造られているよ。



吉井川にある新田原井堰

(和気郡和気町)

なかなかやるな。次の問題は難しいぞ！



- Q3：オニヤンマ（トンボ）はどのくらいのスピードで飛べるでしょうか？
- ①人が歩くくらい
 - ②自転車で走るくらい
 - ③特急電車より速い




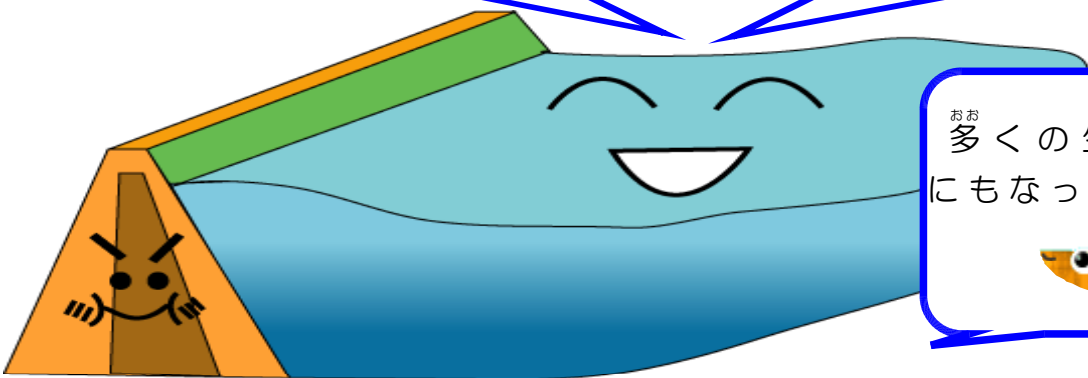
ため池からも水がくるんじゃ。探検するぞ！

ため池は用水路を流れる水の源のひとつなんだ。釣りをしたり、水遊びもできるけど、本当の目的は米づくりのために水を貯めておく人工の池なんだ。特に雨の少ない地域ではその役割は重要だ。そのほかにも防火用水として使われたり、さまざまな生き物のすみかにもなっているよ。



のうぎょう ようすい
農業用水を
た貯めるんだ！

おおあめ とき
大雨の時に
は水をため、
こうすい かせ
洪水を防ぐ
ぞ！

おお
多くの生き物のすみか
にもなってるぞ。




みず
水がしみこ
む入り口に
なっている
ぞ！

ちかすい
地下水

かじ
火事の時
ぼうか ようすい
防火用水にも
なるぞ！




さて、次の問題はわかるかのー。答えてみんちゃい。

Q4：ゲンゴロウが、たまに本当にやってしまう失敗はなーに。

- ①毒のある水草を食べて死ぬ。
- ②えさを食べ過ぎて浮き上がれなくなる。
- ③へびを食べようとして逆に食べられる。



さいご みどり 最後は緑あふれ、しぜん のこ のうそん たんけん
自然が残る農村について探検じゃ。

のうそん た ようすいろ いけ い せき あつ
農村は、田んぼ、用水路、ため池、井堰などが集まっているところ。
だから、ここはみんなの食べ物を作ってくれる場所なんだ。

でも、それだけじゃないよ。農村はたくさんの生き物が住んでいる
しぜん のうそん ほんこ くうき 自然の宝庫だし、空気はおいしいし、さかな
魚とりや農業体験もできるんだ。

だから、この美しい農村を守っていくためにも田んぼや用水路、みんな
ながいつでも遊びに行ける公園や宿泊施設の整備や管理が大切なんだよ。



さあ、のうぎょうたいけん
農業体験をしよう！

くうき もきれいだし、
いやされるなー。

さかな
魚とりをするぞー。

しぜん いっぱい、
あ 出合いいっぱい！



さいご ちんだい
最後の問題。もうひと頑張りじゃ！

Q5：アメンボはなぜアメンボという？

- ① 雨が降ると活発に動き出すから。
- ② 甘えん坊だから。
- ③ 飴のように甘いにおいをだすから。

今回探検した田んぼや用水路などは、食べ物をつくるだけではなく、いろいろな生き物のすみかとなっておるんじゃ！さあ、生き物調査を始めるぞ！どんな動植物を発見できたか下のチェックシートにメモしておこう。わたしが生活している周りの環境の様子まで理解できたら満点じゃ！



生き物調査チェックシート

なまえ 名前	はっけんひ 発見日	はっけんばしょ 発見場所	とき ようす その時の様子・気づいたことは？

クイズの答え		
Q1	③	夏に夕立が近づいた時には、カン高い声で鳴き立てるんだ。
Q2	②	上あごに3対、下あごに2対の計10本もあるよ。
Q3	③	時速150キロメートルで飛べるよ。
Q4	②	慌てて大量のフンをしたり、吐いたりして浮き上がろうとするんだ。
Q5	③	飴のような甘いにおいを出し、棒のような体つきをしているからだよ。

※イラスト等を使用した本：『Solution』（農林水産省・農村環境整備センター発行） 『大地・人・水』（全国土地改良事業団体連合会発行） 『「水のみち」は生きている』（全国土地改良事業団体連合会発行）

みんなからの質問を待ってるぞ！

岡山県農林水産部耕地課・農村振興課

〒700-8570 岡山市内山下二丁目4番6号 TEL086-226-7433